

# 東北の3中招待 サッカーで交流

## 岡山県内3校と対戦

東日本大震災で被災(石市)と大槌中(大槌市)と宮城県の志津川中学校のサッカー部が3日、総社市福井の総社北公園陸上競技場で岡山県内3中学校のサッカー部と交流試合を楽しみ、さわやかな汗を流した。

国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市)が、医療支援を行った被災地の子どもを元気づけようと、総社市などと協力して企画。岩手県の釜石中(釜

元気良くプレーする総社東中(赤のユニホーム)の生徒



総社東Aの対戦を皮切りに、学校対抗のほぼ総当たりで1試合20分ずつ計15試合行った。

選手は市民らの声援を受けながら巧みなパスワークやドリブルを見

(3年)は「芝生のグラウンドでプレーでき気持ち良かった。岡山のみなどと友情を深めたい」と話していた。

3日は試合後、総社東中生徒の自宅にホームステイした。4日は岡山市内で宇野中(玉野市)を加えた計7中学

### 仙台の少年野球 招き交流試合

6日、倉敷選抜

試合前の歓迎式では、東北3中学校に総社東中から応援の寄せ書き入りユニホームが各1枚ずつ贈られた。

倉敷市体育協会軟式野球部は6日、東日本大震災で被災した仙台市若林区の大和少年野球クラブと倉敷地区の学童軟式野球選抜チームの交流試合を、倉敷市営球場(倉敷市四十瀬)で行

校で交流試合をし、5日は広島市、6日は神戸市を巡る予定。(新田真浩)

試合後には両チームが参加する野球教室、5日夕には歓迎会も開かれる。稲月監督は「震災直後は野球どころではなかったが、こうした機会をもらってみんな張り切っている。感謝の気持ちでプレーしてくるはず」とし、同高同窓会の長谷川隆三さんは「互いの子どもたちの励みになるので、多くの人に見に来てほしい」と一般の観戦を呼び掛けている。入場無料で雨天時は中止。問い合わせは長谷川さん(086-434-2186)。(宮本慶一)

## 被災地の子と夏の思い出を

一行は2日に岡山に到着し、6日まで滞在。

校舎が津波で浸水し、現在も近くの大槌高で授業や部活動を行っている大槌中サッカー部の主将藤原可偉君